年間授業計画　新様式例

高等学校 令和５年度（２学年用） 教科　　国語　　科目 文学国語

教　科： 国語　　科　目： 文学国語　　単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 8 組　必修

教科担当者：（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）（ 組： ）

使用教科書：（ 明治書院『精選　文学国語』 ）

使用教材：『頻出　入試漢字コア2800　改訂版』桐原書店　『新訂国語図説　六訂版』京都書房
『改訂版　プログレス現代文総演習　標準編』いいずな書店　『評論・小説を読むための新現代文単語　改訂版』いいずな書店
『改訂版 評論速読トレーニング1500』数研出版　『完成日本文学史ノート 三訂増補版』京都書房

教科　国語　　の目標：

【知識及び技能】 生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使うことができるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】 生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、思考力や想像力を伸ばす。

【学びに向かう力、人間性等】 言葉のもつ価値への認識を深めるとともに、言語感覚を磨き、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもつい、生涯にわたり国語を尊重してその能力の向上を図る態度を養う。

科目　文学国語　　の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。	深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばすとともに、創造的に考える力を養い、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。	言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	領域			評価規準	知	思	態	配当時数
			話・聞	書	読					
一学期	小説入門（１） 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・小説文の形式を知る。 ・常用漢字を文や文章の中で使う。 ・文章を読んで、どのような展開が予想されるかをまとめることを通して、語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して内容を解釈し、粘り強く我が国の言語文化の特質について理解を深める。 教材･･･「言葉によって」、「悪童日記」、文学の窓「小説とは何か」 一人一台端末の活用			○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。	○	○	○	13
	定期考査									1
	小説入門（２） 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・小説文の形式を知る。 ・常用漢字を文や文章の中で使う。 ・典拠である中国唐代の小説『人虎伝』の書き下し文や現代語訳を読み、李徴の性格や李徴が虎になった理由について比較することを通して、人間や社会に対するものの見方、感じ方、考え方を深め、粘り強く我が国の言語文化の特質について理解を深める。 教材･･･「山月記」、小説『人虎伝』の書き下し文や現代語訳 一人一台端末の活用			○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。	○	○	○	13
	定期考査									1

	詩歌入門 【知識及び技能】 我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉える。 【学びに向かう力、人間性等】 繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解する。 描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合う。	・詩というジャンルの歴史性や特徴、また表現上の独特の効果について、具体的な作品分析を通して学ぶ。 ・情景にこめられた孤独感など、作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する。 ・教材…「詩の自由を探る」「秋の祈」「雪」「汚れちまった悲しみに」「崖」 ・一人１台端末の活用　等			○	【知識及び技能】 ・我が国の言語文化に特徴的な表現の技法とその効果について理解しているか。 【思考力、判断力、表現力等】 ・文語で書かれた詩のリズムや表記の特徴を理解し、作品にこめられた作者の心情を捉えているか。 【学びに向かう力、人間性等】 ・繰り返し音読し、積極的に詩のリズムを理解しようとしているか。 ・描かれた情景を読み取り、進んで作者の心情について話し合おうとしているか。		○	○	9
	定期考査									1
二学期	言葉の力 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・近代日本文学の代表的な作品を通して、言葉の芸術としての小説の力を学ぶ。 ・手紙を書くという身近な営みの中に見える言葉の姿を確かめる。 ・言葉が社会の中で、どういう意味を持つのかを考える。 ・遺書を読んだ印象を踏まえ、「先生」に向かって手紙で語りかけるスタイルで、自分の思いをまとめる。 ・常用漢字を文や文章の中で使う。 ・「先生」への手紙形式で自分の思いをまとめることを通して、作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深め、粘り強く我が国の言語文化の特質について理解を深める。 ・教材･･･「こころ」「夏目漱石・芥川龍之介往復書簡」「山東京伝」 一人一台端末の活用			○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができているか。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。	○	○	○	14
	定期考査									1
三学期	戦争と記憶 【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができる。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができる。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができる。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする。	・それぞれの戦争をめぐる記録や文学作品を、視点や語り方に注意して多角的に読み、戦争という事象の複雑さについて理解する。 ・常用漢字を文や文章の中で使う。 ・教材･･･「現場に来て初めてわかること」「空缶」「野火」「転移する記憶」 一人一台端末の活用			○	【知識及び技能】 情景の豊かさや心情の機微を表す語句の量を増し、文章の中で使うことを通して、語感を磨き語彙を豊かにすることができているか。 語り手の視点や場面の設定の仕方、表現の特色について評価することを通して、内容を解釈することができているか。 【思考力、判断力、表現力等】 作品の内容や解釈を踏まえ、人間、社会、自然などに対するものの見方、感じ方、考え方を深めることができているか。 【学びに向かう力、人間性等】 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとしているか。	○	○	○	16
	定期考査						○	○		1
										合計 70